

6 学年 題材指導計画

合唱の美しいひびきを味わおう（7 時間扱い）

1. 題材のねらい

人の声の特徴を聴いて美しさに気付き、二部合唱や三部合唱の響きを味わって歌うことができるようにする。

2. 教材について

(1) 牛坂洋美さんによるミニオペラコンサート

すみれ（スカラッチ作曲）、フィガロの結婚（モーツァルト作曲）

サンタ・ルチア（ナポリ民謡）、ふるさと（文部省唱歌、高野辰之作詞、岡野貞一作曲）など

《学習指導要領 5・6 学年の内容との関連》B(1)ウ

本校出身者でイタリアを中心に活躍しているメゾソプラノ歌手、牛坂洋美さんのミニコンサートを聴く。子どもたちの声域を大幅に超えることのない音域での歌唱の鑑賞である。楽曲は、イタリアオペラの曲が中心である。プロの音楽家の歌唱を鑑賞することは、やわらかく豊かな声量の声の響きや発音の楽しさ、曲による表現の違いを十分に理解し感じ取ることができる。また、独唱とピアノ合唱の演奏など、形態の異なる演奏を聴くことによって、楽器や声のかかわり合いや響きの違いを感じ取らせて聴くようにしたい。

音楽発表会では、歌唱を中心にした学年の発表を聴く。合唱団の演奏では「くじらのなみだ」を聴く。歌詞のもつイメージと曲想の変化に気付き、表現のよさや二部合唱の響きを味わうことができる。また学年の発表では、発達段階に応じた声の響きや表現のよさ、二部合唱の声の重なり合う響きを感じ取るようにしたい。

(2) 音楽発表会児童の部鑑賞

《学習指導要領 5・6 学年の内容との関連》B(1)ウ

音楽発表会では、合唱団と 2，4 年生の演奏を聴く。合唱団では、「くじらのなみだ」という歌詞の内容を理解し、曲想の表現を工夫できる楽曲を取り上げる。また、曲の山の部分は、二部から四部への構成へと変化する時の響きの広がりを味わって聴くことができる。また、2，4 年生のそれぞれの発表では、各学年の発達段階に応じた声の響きや二部合唱の声の重なり合う響きを感じ取れるようにしたい。

(3) つばさをだいて（海野洋司作詞、橋本祥路作曲） * 音楽発表会 発表曲

《学習指導要領 5・6 学年の内容との関連》A(1)ア，A(2)ア，A(2)イ，A(3)ア

いつの日か大きく羽ばたいて大空を駆けめぐりたい気持ちをかもめに託し、ドラマ性のある内容の歌詞が 6 年生の子どもたちの思いを表現するのにふさわしい二部合唱の楽曲である。前半と後半で曲の雰囲気が大きく異なる構成になっており、旋律の変化もとらえやすい。曲の展開は、斉唱で歌い始めるところから曲の山で合唱になり、曲に厚みをもたせるようになっており、斉唱のもつまっすぐに透明感のある感じと、合唱のもつ豊かな声量や響きの広がりを味わうことができる。歌詞や曲の構成を十分理解し、歌い上げるようにしたい。

(4)山田耕筰の歌曲

この道（北原白秋作詞）

《学習指導要領5・6学年の内容との関連》B(1)ウ

この詩は北原白秋が北海道旅行をした際に、札幌の時計台のある北一条通りの光景に感銘を受けてこの詩を作ったといわれる。山田耕作は当時、児童文学雑誌の誌上でこの詩を見付け、深い感銘を覚え、すぐに曲想を思い付いたということである。

観賞用CDには女声独唱と女声二部重唱の2つが収められており、旋律の柔らかな流れに乗った歌声の美しさや和声の響きの美しさを対比しながら感じられる構成になっている。

赤とんぼ（三木露風作詞）

《学習指導要領5・6学年の内容との関連》B(1)ウ

この詩は三木露風が故郷の田園風景を重ね合わせながら、亡き母を追想した1曲であるとされている。昭和2年、この詩に山田耕作が名旋律を付け、以来、現在まで日本を代表する歌曲の一つとなっている。

歌詞と旋律の響きの両面からその美しさを味わえる楽曲である。観賞用CDには、女声斉唱、女声合唱、男声斉唱、混声合唱の4つの演奏形態で、いろいろな歌声や演奏形態の美しさを味わうことができるように構成されている。それぞれの異なる響きの美しさを味わわせることができる。

3. 題材の評価規準

	ア 音楽への 関心・意欲・態度	イ 音楽的な 感受や表現の工夫	ウ 表現の技能	エ 鑑賞の能力
題材 の 評 価 規 準	人の声に関心をもって、美しい響きで表現しようとしている。	豊かな美しい響きのある歌声のよさを感じ取って、美しい歌の表現を求めて、歌い方を工夫している。	美しくのびのびした声で、曲想表現にあった歌い方や重なり合う声の響きに気を付けて、歌っている。	人の声の様々な種類や響きの美しさを感じたり、演奏形態による表現の違いを理解したりしながら聴いている。
学 習 活 動 に お け る 具 体 的 評 価 規 準	独唱、斉唱や合唱など、様々な美しい表現に関心をもって聴いている。 【Aと判断するキーワード】 □それぞれの演奏形態のよさの明確なとらえ 範唱を聴いて自分の声の特質を生かしてパートを選んだり、進んで歌唱表現したりしようとする。 【Aと判断するキーワード】 □パート練習への主体的な取り組み □よりよい表現を求めようとする姿勢、発表	①斉唱、合唱の美しい声の響き合いを求めて、音色・速度・強弱・声量のバランスなどの工夫している。 【Aと判断するキーワード】 □具体的な工夫の提示 □成果と課題の明確なとらえ 歌詞の内容や旋律、リズムを表現できるように、歌い方を工夫する。 【Aと判断するキーワード】 □伝えたい気持ちや表したいことについてのとらえ	互いの声を聴き合いながら、重なり合う声の響きに気を付けて自分のパートを歌っている。 【Aと判断するキーワード】 □パートの音程や強弱の正確さ □重なり合う声の響きに気を付けた発声 理解した歌詞の内容や曲想の変化にふさわしい表現の仕方を工夫して歌っている。 【Aと判断するキーワード】 □思いがこもった歌声や表情 □曲想の変化や曲の山をとらえた発声	美しい響きの歌声や歌唱表現のよさを感じ取って聴く。 【Aと判断するキーワード】 □歌唱表現の美しさやよさについての明確な意見 それぞれの響きの美しさや特徴を感じ取って聴く。 【Aと判断するキーワード】 □様々な演奏形態の違いや特色の明確かつ多様なとらえ □自分の演奏に生かそうとする姿勢

4. 指導と評価の計画(7時間扱い)

：取り扱い項目

取り扱い重点項目

時	主な学習内容	題材の 評価 規準	指導要領 との 関連	内容のまとめりと の関連				評価方法等
				歌 唱	器 楽	創 作	鑑 賞	
1	【牛坂洋美さんによるミニコンサート】 声楽家の声の特徴や美しさを感じ取って聴く。 ・自分たちの歌声との違いや響きの美しさを感じ取って聴く。	ア -	B(1)ウ					学習カード

1	<ul style="list-style-type: none"> ・美しい歌唱表現のよさを見つけながら，その美しさを味わう。 独唱と合唱の響きの違いを感じ取って聴く。 ・牛坂さんの独唱と合唱団との合唱を聴き比べて，響きを感じ取る。 	エ -	B(1)ウ					学習カード
		エ -	B(1)ウ					学習カード
2	<p>【つばさをだいて】</p> <p>歌詞の内容をつかむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歌詞を朗読し，どんな願いや思いが込められた歌詞なのか発表する。 歌詞唱をする。 							
3	<ul style="list-style-type: none"> ・主旋律を歌詞唱する。 ・曲の展開の変化についてつかむ。 歌い方の工夫や練習方法を話し合っ て練習する。 ・自分の声を生かせる合唱のパートを 決める。 ・パートごとにリズムや音程の取りに くい部分を確認しながら練習する。 ・リーダーを中心に工夫したいところ や練習方法について話し合い，練習す る。 	イ -	A(2)ア					発言
		ア -	A(1)ア					行動観察
		ウ -	A(3)ア					行動観察
		イ -	A(2)ア					発表 学習カード
4	<p>効果的な表現になるよう工夫する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・終わりの言葉と合わせて練習し，タ イミングや音量を調節して歌う。 ・カセットテープで録音し，自分たち の声を聴きながら，美しく響かせたり， 音が重なり合う響きに気を付けたりし ながら練習する。 	イ -	A(2)イ					発表 歌唱聴取
5	<p>心をこめて美しい響きに仕上げる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歌詞や終わりの言葉で伝えたい思い を振り返り，どんな気持ちで歌いた いのか，どんな歌声にしたいのか再確認 する。 ・心をこめて美しい響き合いになるよ うに工夫して歌う。 	イ -	A(2)ア					学習カード
		ウ -	A(3)ア					歌唱聴取
6	<p>【音楽発表会児童の部・鑑賞】</p> <p>2年生「Make A Wish」</p> <p>4年生「地球の家族」</p>							

6	<p>合唱団「くじらのなみだ」 を味わいながら聴く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2年生,4年生のそれぞれの曲の 声の響きを感じ取りながら聴く。 ・合唱団の声の響き合いを感じ取り ながら聴く。 ・曲想を生かす工夫はどこか考えな がら聴く。 	エ -	B(1)ウ					<p>行動観察 学習カード 行動観察 学習カード</p>
7	<p>山田耕筰の歌曲 歌声の美しさや響きを味わったり, いろいろな演奏形態による響きの違 いなどを感じ取ったりして聴く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの歌声の特徴に気付く。 ・「独唱」「斉唱」「重唱」「女声合唱」「男 声合唱」「混声合唱」について理解し, 響きの違いや美しさを味わって聴 く。 	エ -	B(1)ウ					<p>学習カード</p>